第 1 回技術実証検討会での指摘事項とその対応

指摘事項	対応（案）または説明
<p>(1) 10月に第2回検討会を開催する件</p> <p>(2) 追加募集をして実証申請案件を増やす。</p> <p>(3) 応募件数の増加策</p> <p>(4) APF の呼称を変更する件</p> <p>(5) 実証単位(C)では、U字管のための試験方法を考えてもいいのではないか。</p>	<p>(1) 開催の必要はないと判断し、開催していない。(環境省の元来の見込みも年 2 回。)</p> <p>(2) 秋に追加募集をした。4 件の応募があった。</p> <p>(3) 地中熱分野では、業界に ETV がかなり普及してきており、申請の問い合わせは増えている。しかし、手数料、試験時期の制約などは依然として足かせになっている。 手数料は最小限にしているが、現状制度の下ではこれ以上安くすることは難しい。</p> <p>(4) 今回の検討議題としている。</p> <p>(5) U字管だけの試験方法は、まだ特には考えていない。今年度はU字管の主要メーカーが出そろったので、今後U字管の試験が増える期待は少ない。</p>